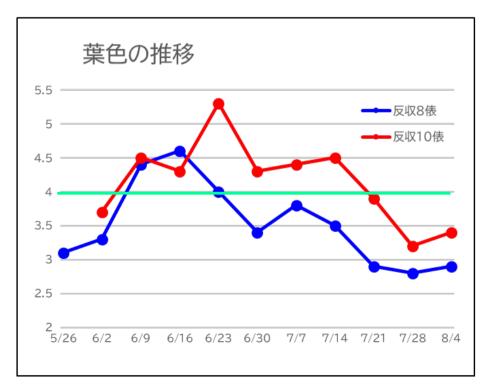
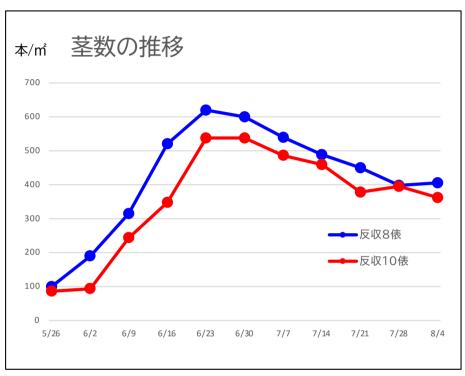


徴日本晴栽培のポイント

・日本晴は分げつが旺盛な品種であるた め茎数過剰とならないようにし、幼穂形 成期以降に穂肥を効かしてしっかりした 穂をつけましょう。







- ・茎数過剰になると肥料を先食いし、葉色が 一気に淡くなり収量に大きく影響します。
- ・高温年は一括肥料の成分が予定より早く溶 け出してしまうことがあるので、生育途中の 肥料切れを防ぎましょう。

☆肥料切れに要注意!!





一発肥料(日本晴588)※オール化成

施用量:40kg/10a

・側条施肥の場合、一括肥料が規定量入りきらない場合が多く見られます。開度表や昨年の状況を参考に規定量を確実に施用しましょう。

高温年には穂肥の施用を

・一発肥料を施用した場合でも、幼穂形成期(7月中旬頃)に葉色が淡い場合にはこだわり追肥570(7kg/10a)を施用しましょう。



፟ዾ追肥をやりたいけど動散がない・労力がない

そんな場合は・・・



【効果】

- ・即効性のチッソとカリが速やかに吸収され、健全な生育を促進します。
- ・粒張りが良くなり、収量増加が期待できます。
- ・クエン酸が根圏の先端まで運ばれ、弱った根に活力 を与えます。

【使用方法】

- ・湛水状態(7cm以上)の田んぼに、畦を回りながら、 3kg/10a(1袋)をできるだけ均一に投げ込んでください。
- ・施用後、5日以上湛水状態を維持しましょう。



№ 時期が遅れないよう田干し・中干し

- ・6月に入る頃には、わきや藻の発生が見られるので、 軽めの田干しで発生を抑制
- ・その後田植え後1ヶ月を目安とし、目標茎数の8割程度=(20~22本/株)を確保できた圃場より中干し開始
- ※過剰分けつを抑える為遅れずに実施!! 全ての茎が実になるとは限らない
- ※干しすぎず、田面に軽く足跡がつく程度



■注意

葉色の低下を避ける為、大きなヒビが入る程一 度に強く干し上げるような極端な中干しは行わ ないようにしましょう。



中干し終了時期は出穂1ヶ月前(7月10日頃迄)

上級編

通常の浅水管理ではどうしても過剰分げつとなり、葉色が維持できない場合は中期深水管理技術を取り入れよう

中期深水管理

分げつの抑制効果は、中干しよりも高い

(最高分げつ期) (幼穂形成期) 6月中旬 6月下旬~7月上旬 7月中旬 ▼ ◆ ▼				
水管理	浅水	深水	中干し	間断通水
分げつ	増加する分げつの	抑制する	ほとんど 発生しない	ほとんど発生しな い
茎の大さ		慣行の水管理と変 わらず	太くなる	太くなる
草丈	伸びる	急激に伸びる	ゆっくり伸びる	慣行の水管理とほ ぼ同等

- ・有効茎が確保されたら、分げつの増加が止まる最高分げつ期まで深水にする。 深水の期間:10日~2週間程度、 ワキが発生したら軽く干す。
- ・最高分げつ期後、幼穂形成期まで中干しは必ず行う。
 - ※深水期間が長いと倒伏しやすくなる。



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

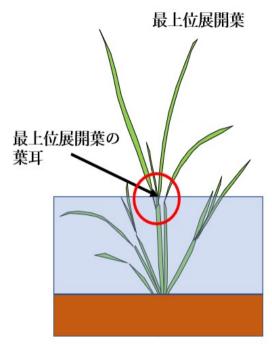
6割

秋田県農試が実証

水田センサーを使って深水管理を実施 慣行区 水田センサー 浅水管理 7月中下旬

【水深】





・水の深さは最上位展開葉の葉耳が隠れる程度 理想:水深10cm以上

- ※水深が確保できない場合は5cm程度の湛水を継続
- ・生育に合わせて水を深くする。 稲の生育+減水深分の水を足す。



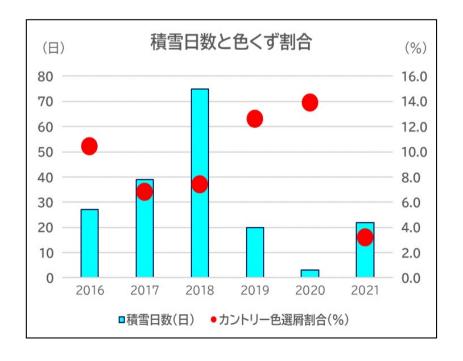
□品質低下の要因と対策

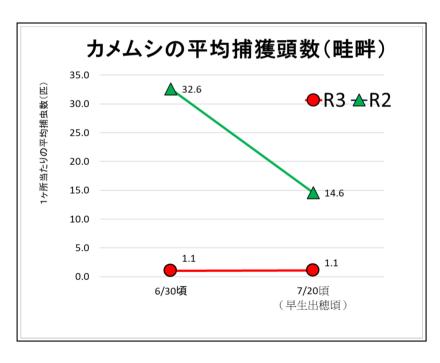
- ・カメムシによる斑点米被害が多く、ハナエチゼ ンや日本晴などの品種では格落ち理由の多く を占めています。
- ・特に暖冬の年は、生存期間が長い大型のクモ ヘリカメムシが増加しており、斑点米による格 落ちや、色選屑が多く出荷量の低下をまねい ています。





- ·体長15~17mm
- 体色はやや光沢のある黄緑色。
- 嶺南~丹南地域に多いが近年 発生域が広まりつつある。







①品種の団地化

- ・出穂時期を揃え、集中加害を軽減。
- ・団地(品種)ごとの防除体制の検討。



②雑草の管理(畦畔、休耕田、水田内)

・出穂10日前までのこまめな除草によりカメムシの生息密度低下に努めましょう (圃場内のヒエや水田周辺のエノコログサなどイネ科雑草を好む)

③薬剤防除の実施

- ・クモヘリカメムシは大型のカメムシだが、薬剤には弱い。
- ・斑点米予防には、ラジヘリ防除などの一斉(面的)防除で生息数を減らすことが効果的です。
- ・ラジヘリ防除や共同防除など、基幹防除(2回)は必ず実施し、暖冬年は生息密度が高くなるので仕上げ防除を実施しましょう。